日刊
両毛新聞
The Ryomo

発行　一般財団法人
両毛育英奨学基金会
〒326-0338
足利市福居町
1111-5-A1004
☎ 0284-73-2770
mail@ryomo-ikuei.net

足利花火
2025年
8月2日

若い力に期待しています

第35回両毛育英奨学基金会贈呈式

地域の若い学生に奨学金を贈る、第35回両毛育英奨学基金会贈呈式が5月31日、ハマダホール（通2・プラザハマダ2F）で行われた。今年は、奨学金20万円（基本10万円と特別追加分10万円）を給付した。

中山寿久代表理事が、「SNSのフェイクニュースや闇バイトなどにだまされないためには、人生の経験値を高めることが大事です。そのためには、一人旅をしたり、新しいことにチャレンジしたり、良い友人を作ったりしましょう。勉強だけでなく、若い時にしかできないことへのチャレンジに、今日の奨学金を活用してください。困難にぶつかったら、今日の贈呈式を思い出してください。ふるさとの人々はあなたをいつも応援しています。」と挨拶した。

また、当会贈呈式の後、足利市内の英才を支援するために、今年、㈱フライトワン（足利市真砂町）が創設した、「フライトワン奨学金（100万円）」贈呈式が、開催された。

奨学金は地域の人々の愛情の証

未来の夢に向かって羽ばたいてください

来賓の、㈲折田開発会長の折田充男さん、㈱フライトワン取締役の齋藤操さん、名草調べ隊Y&H代表の田部井洋文さん、㈱ハマダ役員の浜田英子さんが、祝辞を述べた。

その後、高橋由起さんのフルートと須藤和子さんのピアノによるミニコンサートが行われ、美しい調べで奨学生の未来にエールを送った。

今年度の奨学生は、次の13名。（五十音順）。

◇

☆[redacted]さん・足利高校卒→富山大学医学部　☆[redacted]さん・足利短大附属高校卒→足利大学工学部　☆[redacted]さん・佐野東高校卒→千葉・柏リハビリテーション学院　☆[redacted]さん・足利大学附属高校卒→東京電機大学理工学部　☆[redacted]さん・足利清風高校卒→足利大学看護学部　☆[redacted]さん・足利高校卒→日本外国語専門学校　☆[redacted]さん・白鷗大学足利高校卒→公立諏訪東京理科大学工学部　☆[redacted]さん・足利南高校卒→桐生大学短期大学部　☆[redacted]さん・足利高校卒→獨協医科大学医学部　☆[redacted]さん・足利工業高校卒→共愛学園前橋国際大学国際社会学部　☆[redacted]さん・桐生第一高校卒→桐生大学短期大学部　☆[redacted]さん・佐野日本大学高校卒→日本大学国際関係学部　☆[redacted]さん・白鷗大学足利高校卒→筑波大学総合学域群理系Ⅰ

◇

各出身高校教諭の推薦の言葉と奨学生の今後の抱負は別項の通り。

奨学生の抱負・目標

自己研鑽し、精神医療で患者さんを救う

☆[redacted]さん・足利高校→富山大学医学部

【抱負】医学部に進学し、今後は医師国家資格を取得するために勉学に励みたい。

特に精神医療に関心があり、精神疾患に苦しむ患者さんを救うために尽力したいと考えている。大学では、精神医学や認知情動脳科学の研究に取り組み、記憶や感情と精神疾患の関わりを突き止めたい。これにより、より効果的な治療法の開発を目指したい。

さらに、医師として必要な倫理観と人間性を育むため、大学では多くの人との交流を積極的に行い、ボランティア活動にも力を入れたい。様々な経験を通じて、幅広い視野を持ち、患者さんに寄り添い、共感することのできる医師になれるよう努力していきたい。

【推薦理由】[redacted]先生…温和で思いやりがあり人のために献身的に行動することができる。その人柄から周囲からの信頼も厚い。

非常に優れた成績を収め、部活動にも積極的に取り組み文武両道を実践した。

将来は、医療を通じて他者の幸福に貢献し、患者に寄り添う医師になるために、医師として常に学び続け、知識を習得し続ける責任を自覚し、主体的に課題や勉学に取り組む姿勢を大切にしている。

その強い志と向上心から、将来社会に大きく貢献できる人物であると確信し、推薦いたします。

地域交流活動の継続と、専門分野の探求を

☆[redacted]さん・足利短期大学附属高校→足利大学工学部創生工学科

【抱負】この春から大学生活を始めるにあたって、二つの目標を立てました。

一つ目は専門分野の探求です。私は高校では文系を選択したため、物理や化学などの理系科目を受けませんでした。大学進学が決まってからは、大学で授業を受講する上で支障が出ないよう、理系の参考書を買い日々勉強に励み、その分野への理解をより深めようと努力しています。

二つ目は地域での活動です。私は、高校で四つの部活動に所属していました。その中でも、たくさんの方と関わることのできるインターアクト部での活動は、人と関わることが苦手な私の中の一つの転機となりました。地域の温かさを直接感じることができ、これからも地域へ貢献していきたいと思います。

大学へ入学してからも地域で活動できるようなサークルへ入り、交流を続けていきます。

【推薦理由】[redacted]先生…真面目で温厚な性格である。何事に対しても集中して取り組むことができ、学業においても優秀な成績を収めた。

また、一年次より茶道部、華道部、書道部、インターアクト部に所属し、三年間、部活動に励んでいた。

卒業後は、地元の足利でシステム情報に関する学問に取り組みたいということから、足利大学工学部への進学を決めた。

大学進学後も自らの目標に向けて、地道に努力を積み重ねてくれることと信じ、奨学生に推薦いたします。

第３５回両毛育英奨学生の皆さん

太陽系

当会の奨学金贈呈式は、毎年5月下旬に開催される。「母の日」と「父の日」の真ん中ごろだ。「ありがとう」。言える時に言っておいた方がいい。

☆

ミニコンサートのアンコール曲「ありがとう」（いきものがかり。NHK朝ドラ「ゲゲゲの女房」主題歌）を聴きながら思った。

☆

若い頃は、両親、恩師、お世話になった人々の恩の有難みがわからない。わかっていても「ありがとう」を素直に口にできない。ましてや受けた恩を同じだけ返すことなど到底できはしない。

☆

寄付者の方から奨学生に届けられた応援メッセージに、「恩送り」という言葉があった。人は受けた恩を次世代に「恩送り」することでしか「恩返し」できないのかもしれない。

☆

若い学生の皆さん。いろいろな本を読み、いろいろな場所に行き、いろいろな人に会い、いろいろな経験をしてください。

☆

成長したあなたたちがアップデートした、学問・技術・思想・芸術・感性は、次の時代の地球上の子どもたちへの「恩送り」となるでしょう。

提携先　浅沼経営センターグループ
女性のためのビジネススクール メビウス
スクール長　浅沼公子
主　宰　三上洋子
設立 26 年　講義実績 228 回　起業、ビジネスのサポート
メビウスは会社のあらゆる"困った"に答える「知恵袋」を持っています。
お気軽にあなたの"どうする？"をご相談ください。
LINE で情報をお送りしています。　LINE 登録 →
（TEL）0284-41-1324　（MAIL）office@bs-mebius.net
〒326-0808 足利市本城 2-1901-8　tel.0284-41-1324　mail.office@bs-mebius.net　http://bs-mebius.net/

www.plazahamada.co.jp
プラザハマダ
まち歩きのお休み処
プラザハマダのインストアカフェ
「カフェラボ ハマダ」で一息つきませんか？

足利めぐり里プリントクッキー

渡良瀬橋クッキー

〒326-0814 栃木県足利市通 2-12-11
Tel. 0284-41-2301
営業時間　11：00～18：30
定休日　月曜日・水曜日